

6/11 (木) 株式会社関根電気、法人会、職工組合 町に義援金



新型コロナウイルス感染症に対する支援として、(株)関根電気(関根敏政代表)より、茨城町へ義援金50万円が贈られました。

茨城町役場で行われた贈呈式において、小林町長に目録を渡した関根敏政さん(写真左)は、「自分の生まれ育った町なので、少しでも役に立ちたいと思った。厳しい時期だからこそ茨城町に協力したい。」と語りました。

小林町長は「今回の義援金にとどまらず、これまでも町への寄付を多くいただくなど、愛町精神に溢れた関根さんの存在はありがたい。この心遣いを我々公務員も大切に受け止め、今後の支援策に向けて活用したい。」と謝辞を述べました。

また、公益社団法人水戸法人会茨城地区会および茨城町職工組合からも、左記のとおり義援金が贈られました。

茨城町では、「茨城町新型コロナウイルス感染症等対策基金」へ積み立てをし、今後の支援策に活用していく予定です。

寄贈者(敬称略、順不同)	寄贈額
公益社団法人 水戸法人会茨城地区会	20万円
茨城町職工組合	10万円

6/24 (水) 茨城町女性会連絡協議会 青葉小学校の除菌清掃活動

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、茨城町女性会連絡協議会(木村みち子会長)が、青葉小学校において除菌清掃活動を行いました。

早朝には草刈りを行い、放課後は特別教室の机、共用の手洗場、昇降口や階段の手すりなどを微酸性電解水(次亜塩素酸水)で除菌し、青葉小学校の衛生管理を支援しました。当面、週2回程度、活動を続ける予定です。

今回の活動に際し、木村会長は「女性会のメンバーから、自分たちの力を地域のために活かそうという声」が自然と上がった。子どもだけでなく教職員の方々も感染予防に取り組まれている。感染のリスクを下げるのはこまめな除菌なので、この活動で教職員の方々の負担を少しでも軽減できるように協力したい。」と語りました。



6/2 (火) 有限会社細谷建材 町立小中学校、幼稚園にマスク寄贈



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、(有)細谷建材(細谷喜久枝代表)から子ども用マスク7,200枚の寄贈がありました。

(有)細谷建材は5月18日(月)にも3,600枚の大人用マスクと、消毒液(800ミリリットル×24本、1リットル×10本)の寄贈をされており、同社取締役の木田隆志さんと塚田勲さんは「小さいお子さんの健康を守るための要になればと思います、子ども用マスクを贈ろうと考えた。」と寄贈の経緯を語りました。

小林宣夫町長は「二度にわたる寄贈は感謝の一念。また子ども用マスクの寄贈は大変ありがたい。体の小さい低学年の児童や、園児のために活用したい。」と謝辞を述べました。

町では、今回の子ども用マスクを、6月9日(火)に町立の全小中学校および幼稚園に配布しました。

6/3 (水) 茨城町商工会青年部 町立小中学校に消毒液寄贈



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、茨城町商工会青年部(大須賀真寛部長)から、消毒液168リットルの寄贈がありました。

「商工会青年部は子育て世代が多いため、子どもたちが通う学校に向けて援助したいと考えた。この消毒液を、子どもたちが生活する環境向上のために役立てて頂ければ幸い。」と語りました。

小林町長は「消毒用エタノールの需要が高まっている中、特に学校の感染予防に向けた寄贈はありがたい。」と謝辞を述べました。

町では、6月8日(月)より町立の全小中学校6校に順次配布しました。

